

地蔵菩薩

地蔵菩薩のこの描写は、座位で彫られています。地蔵菩薩は、母子や旅人などの守護者です。彼はまた、流産、失産、死産などの亡くなった子供の救済者とも考えられています。伝承によれば、地蔵菩薩は鬼から子供を守るために衣の中に彼らをかきました。

地蔵菩薩は旅する僧侶として典型的に描かれており、このことは彫像がその右手に錫杖、伝統的な僧侶の杖を持っているように強調されています。杖には、もとは僧侶が旅や托鉢に出るときに持ち、山野の害獣や毒虫を音で追い払い、托鉢では村里に近づいたときに来訪の合図として使った。他の地蔵菩薩と同様に、この描写は左手に宝珠(神聖な願望を満たす宝石)を持ち、祈りを捧げます。

この地蔵菩薩像は木造で、高さ 1.23 m、浮彫の広い光背を伴っています。平安時代後期(794 年~1185 年)の 11 世紀にさかのぼります。